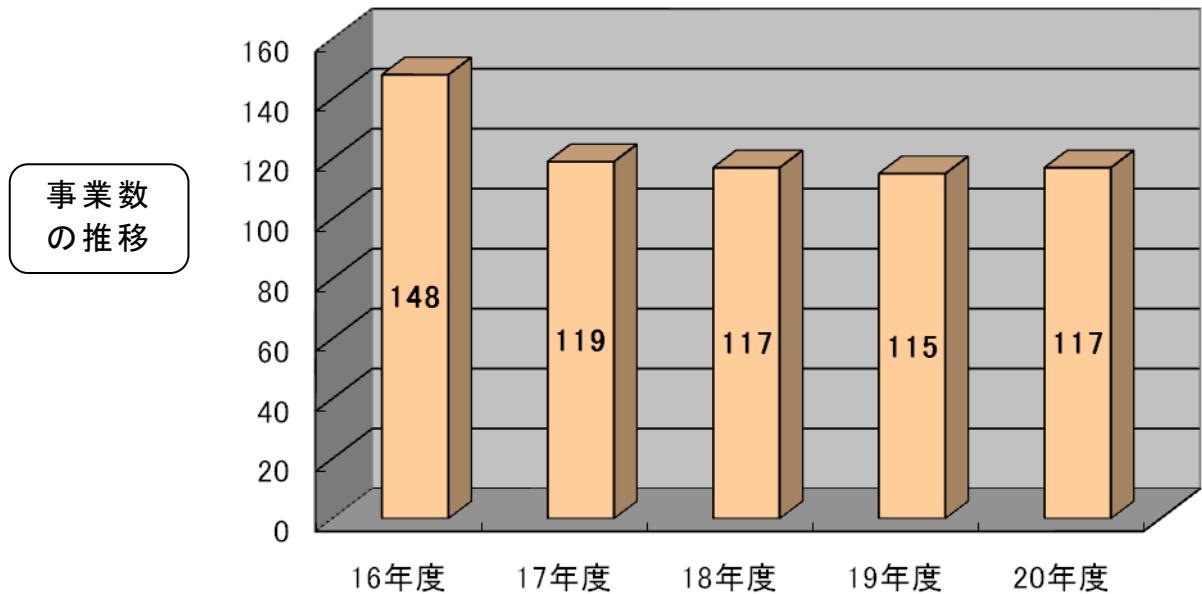


## 平成20年度市町等公営企業決算の概要

### 事業数

平成20年度末現在、117事業（2事業、1.7%の増加）

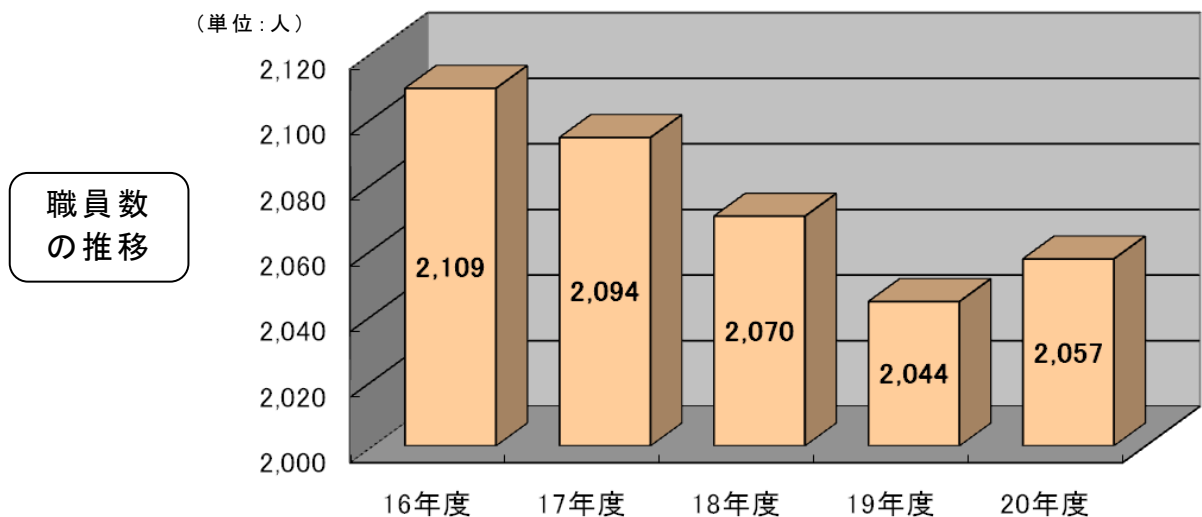
平成16年度の事業数と比較して31事業、20.9%の減少となっている。



### 職員数

平成20年度末現在、2,057人（13人、0.6%の増加）

平成16年度の職員数と比較して52人、2.5%の減少となっている。



## 決算規模

1, 194億5, 546万円（86億2, 921万円、6.7%の減少）

平成16年度の決算規模と比較して23億691万円、1.9%の減少となっている。

## 経営の状況

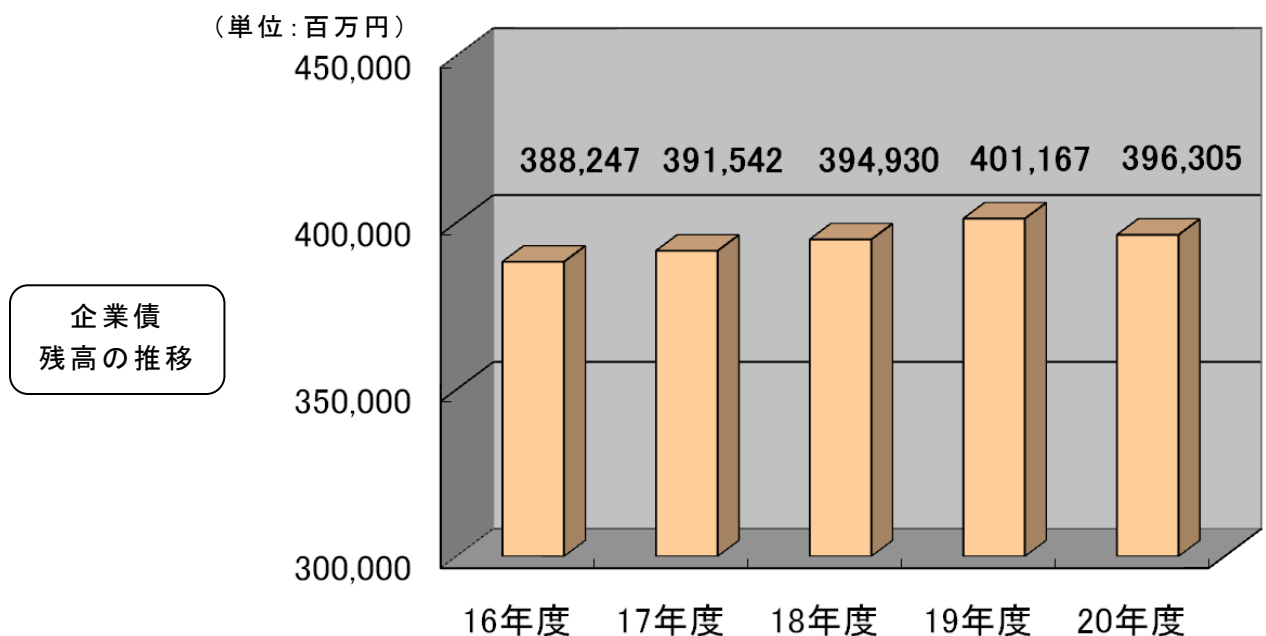
経常収支35億4, 549万円の黒字（9億4, 250万円、36.2%の増加）

黒字事業（経常収支が0の事業含）は99事業で全体の84.6%となっている。

## 企業債現在高

3, 963億505万円（48億6, 193万円、1.2%の減少）

平成16年度の残高と比較して、80億5, 799万円、2.1%増加している。



(注) 各項目の数値は、表示単位未満を四捨五入したものである。したがって、その内訳を合計した数値は、合計欄の数値と一致しない場合がある。

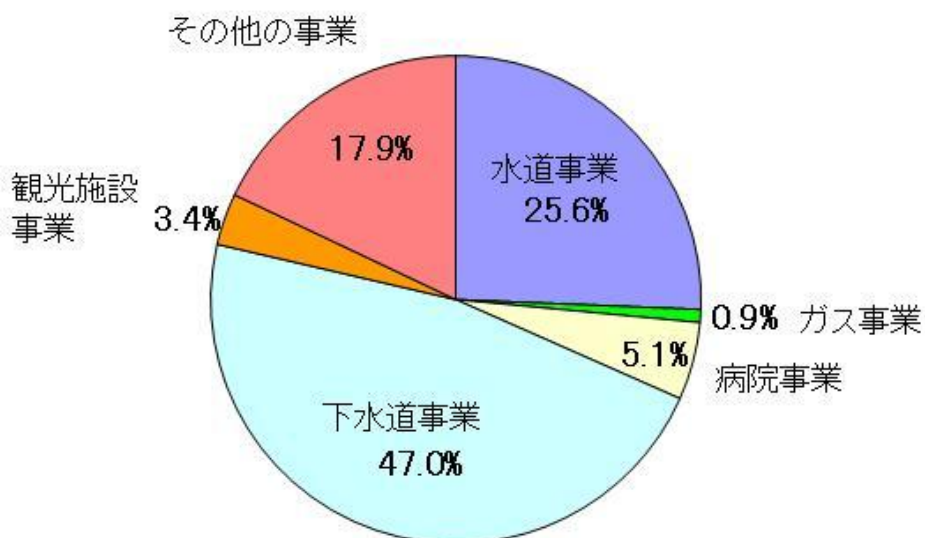
(1) 事業数

平成20年度末における本縣市町等の地方公営企業の数 は 117 事業で、前年度末の 115 事業に比べ 2 事業増加している。

事業別にみると、下水道事業（公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業、林業集落排水事業、小規模集合排水処理事業、特定地域生活排水処理事業および個別排水処理事業）が 55 事業で最も多く、全体の 47.0% を占めている。次いで水道事業（上水道および簡易水道）が 30 事業（全体の 25.6%）となっている。

事業別内訳

事業名	経営主体別区分			計	対前年度 増減数
	市	町	一組・ 財産区		
水道事業	15	14	1	30	1
ガス事業	1			1	
病院事業	2	2	2	6	
下水道事業	28	26	1	55	
観光施設事業	2	2		4	
その他の事業	14	6	1	21	1
合計	62	50	5	117	2



## (2) 職員数

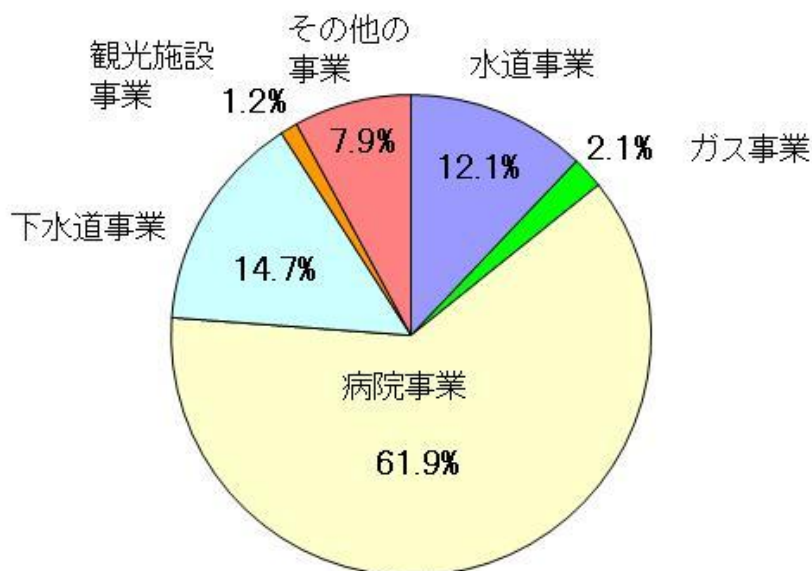
平成20年度末において地方公営企業に従事する職員数は2,057人で、前年度末の2,044人に比べ、13人(0.6%)増加している。

職員数を事業別にみると、病院事業が1,274人(全体の61.9%)と最も多く、下水道事業の303人(同14.7%)、水道事業(上水道および簡易水道)の249人(同12.1%)がこれに次いでおり、これら3事業で全体の88.8%を占めている。

職員数

(単位:人)

事業名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	対前年度増減
水道事業	279	271	271	262	249	△13
ガス事業	63	55	53	44	44	0
病院事業	1,246	1,248	1,238	1,266	1,274	8
下水道事業	341	338	331	305	303	△2
観光施設事業	34	28	26	27	24	△3
その他の事業	146	154	151	140	163	23
合計	2,109	2,094	2,070	2,044	2,057	13



(3) 決算規模

平成20年度末の決算規模は、1,194億5,546万円で、前年度の1,280億8,467万円に比べ、86億2,921万円(6.7%)減少している。

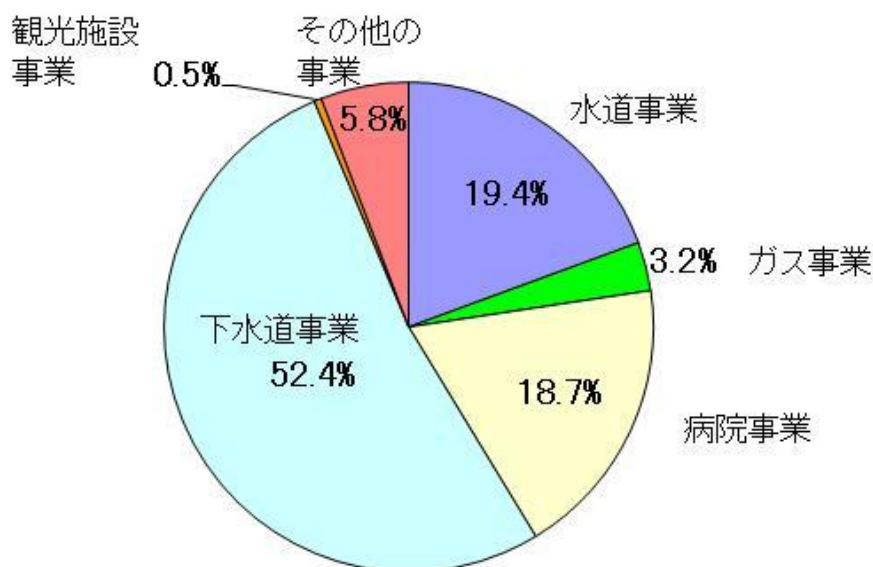
決算規模の大きな事業をみると、下水道事業が625億5,775万円(全体の52.4%)と最も大きく、次いで病院事業が223億4,167万円(同18.7%)、水道事業(上水道および簡易水道)が231億6,557万円(同19.4%)、ガス事業が38億4,129万円(同3.2%)となっている。

(注) 決算規模 法適用企業 : 総費用－減価償却費＋資本的支出  
 法非適用企業 : 総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

決算規模

(単位:千円、%)

事業名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	19-20増減
水道事業	22,010,602	20,265,976	19,726,697	23,374,290	23,165,570	△ 0.9
ガス事業	4,112,124	4,195,917	4,110,284	3,890,236	3,841,285	△ 1.3
病院事業	29,331,966	27,575,887	26,245,677	26,575,553	22,341,674	△ 15.9
下水道事業	59,119,363	55,435,840	56,907,057	67,040,913	62,557,751	△ 6.7
観光施設事業	1,108,120	795,687	660,259	636,897	595,350	△ 6.5
その他の事業	6,080,201	6,081,158	5,793,476	6,566,777	6,953,834	5.9
計	121,762,376	114,350,465	113,443,450	128,084,666	119,455,464	△ 6.7



#### (4) 経営の状況

企業の収益的収支の状況を示す指標として経常収益対経常費用（法非適用企業は、総収益対総費用の比率）105.7%（1.5%の増加）となっている。経常収益に占める他会計繰入金を除いた場合、82.9%（1.4%の増加）となっている。

また、平成20年度単年度の収益的収支で赤字を生じた企業は、法適用企業では9（上水道事業1、ガス事業1、病院事業4、観光施設事業2、その他事業1）となっており、法非適用企業では9（下水道事業8、観光施設事業1）となっている。

なお、平成20年度末で累積欠損金（法非適用企業は実質収支赤字）を有する企業は、法適用企業では13（上水道事業4、ガス事業1、病院事業4、観光施設事業3、その他の事業1）、法非適用企業では2（宅地造成事業2）となっている。

経営状況

(単位:千円、%)

	年度	経常収益	経常費用	経常収支比率	他会計繰入金	(A)-(C)/(B)
		(A)	(B)	(A/B) %	(C)	%
水道事業	19年度	14,190,696	13,774,688	103.0	1,399,055	92.9
	20年度	14,564,855	13,781,361	105.7	1,464,400	95.1
ガス事業	19年度	3,362,534	3,638,605	92.4	4,895	92.3
	20年度	3,460,526	3,493,227	99.1	4,895	98.9
病院事業	19年度	20,246,767	21,483,723	94.2	1,224,961	88.5
	20年度	21,157,732	22,643,146	93.4	1,458,781	87.0
下水道事業	19年度	22,245,691	20,544,039	108.3	10,454,079	57.4
	20年度	21,689,264	19,520,102	111.1	10,542,504	57.1
観光施設事業	19年度	587,017	622,011	94.4	78,438	81.8
	20年度	571,509	603,369	94.7	100,960	78.0
その他の事業	19年度	4,164,136	2,130,782	195.4	944,300	151.1
	20年度	4,403,684	2,260,874	194.8	653,501	165.9
計	19年度	64,796,841	62,193,848	104.2	14,105,728	81.5
	20年度	65,847,570	62,302,079	105.7	14,225,041	82.9

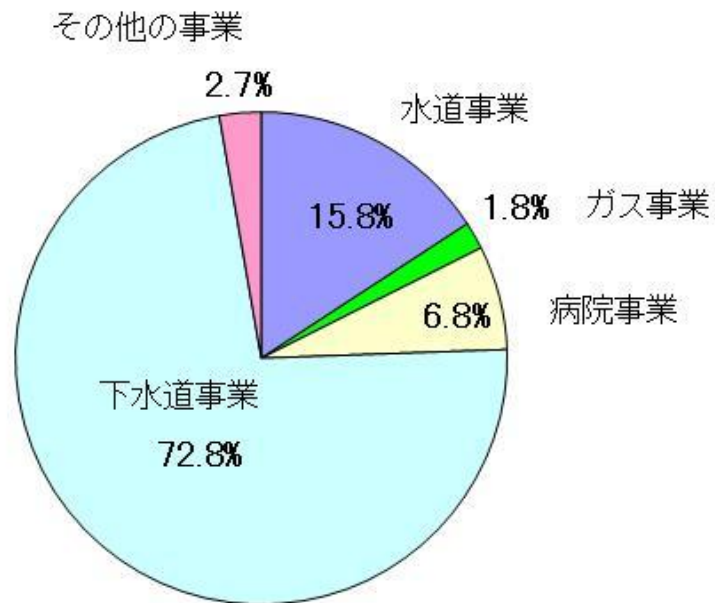
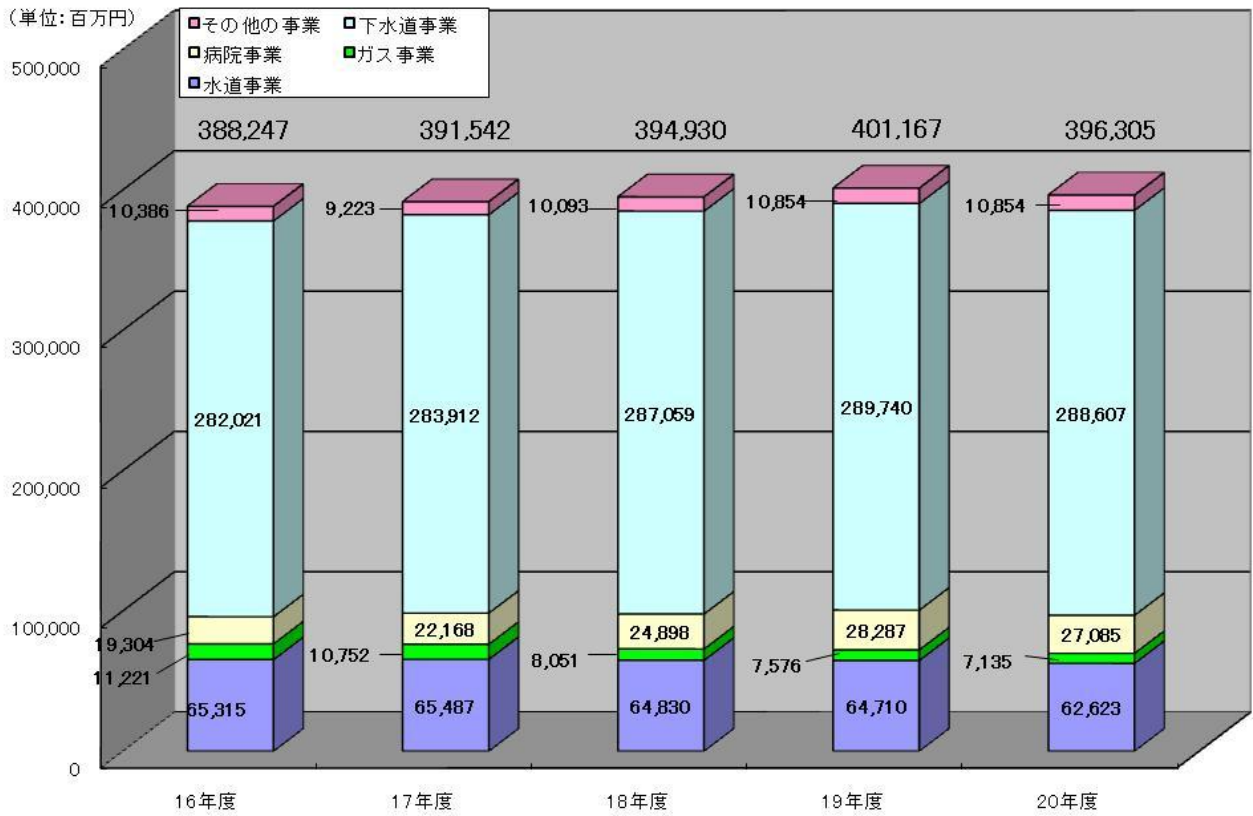
#### (5) 企業債残高の状況

平成20年度末の企業債残高は、3,963億505万円で前年度の4,011億6,698万円に比べ、48億6,193万円（1.2%）減少している。また、企業債残高を事業別に見ると下水道事業が2,886億717万円（全体の72.8%）と最も多く、次いで水道事業（上水道および簡易水道）が626億2,311万円（全体で15.8%）、病院事業が270億8,514万円（全体で6.8%）となっている。

企業債残高

(単位:千円、%)

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	19-20増減
水道事業	65,314,752	65,487,467	64,829,797	64,709,832	62,623,108	△ 3.2
ガス事業	11,220,890	10,751,616	8,050,720	7,575,756	7,135,451	△ 5.8
病院事業	19,304,491	22,167,777	24,898,033	28,287,212	27,085,142	△ 4.2
下水道事業	282,021,164	283,912,276	287,059,030	289,740,380	288,607,173	△ 0.4
その他の事業	10,385,765	9,223,002	10,092,859	10,853,801	10,854,173	0.0
計	388,247,062	391,542,138	394,930,439	401,166,981	396,305,047	△ 1.2



## 2. 事業別経営の状況

### (1) 水道事業（上水道事業および簡易水道事業）

事業数は上水道事業および簡易水道事業をあわせて30事業（上水道16事業、簡易水道14事業）あり、昨年から1事業（南越前町の簡易水道の一部が上水道に移行）増加している。平成20年度末現在の給水人口は788,884人と前年度（792,407人）より、3,523人減少し、水道の普及率（計画給水人口に対する現在給水人口の割合）は、上水道事業が93.5%（前年度93.6%）、簡易水道事業が76.4%（前年度76.3%）となっている。

年間総有収水量は、101,371千 $m^3$ と前年度（103,857千 $m^3$ ）に比べ2,486千 $m^3$ 減少、1日1人平均給水量は352リットルと前年度（359リットル）に比べ7リットル減少、有収率（総有収水量対総配水量）は、90.5%と前年度（90.2%）に比べ、0.3ポイント増加している。

水道事業における法適用企業は上水道事業の16事業であり、その収益的収支をみると経常収益は131億8,683万円（対前年度比4億8,714万円、3.8%の増）、経常費用は127億0,338万円（同1億4,648万円、1.2%の増）で、差引4億8,345万円（同3億4,066万円、238.6%の増）の黒字となっている。経常収支比率は103.8%と前年度（101.1%）を2.7ポイント上回っている。経常利益を生じた事業は15事業（前年度7事業）で、その額は5億3,006万円（前年度5億3,859万円）となっている。

また、累積欠損金を有する事業は4事業（前年度7事業）であり、その額は3億1,349万円（4億6,297万円）となっている。

なお、給水量1 $m^3$ 当たりの給水原価は135円01銭で、前年度（131円58銭）に比べ3円43銭高くなっている。また、給水量1 $m^3$ 当たりの供給単価は、121円29銭で前年度（114円87銭）に比べ6円42銭高くなっており、給水原価を13円72銭（前年度16円71銭）下回っている。

資本的収支では、資本的収入は59億0,599万円、そのうち72.5%にあたる42億7,980万円が企業債であり、資本的支出は109億2,461万円となっている。

水道事業における法非適用企業は簡易水道事業の14事業であり、その収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は全体で7,151万円（対前年度比1,085万円、17.9%の増）の黒字となっている。

#### 事業概要

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
年度末給水人口	人	797,303	796,370	794,898	792,407	788,884	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4
年間総配水量(A)	千 $m^3$	119,283	119,308	117,316	115,109	111,995	0.0	△ 1.7	△ 1.9	△ 2.7
年間総有収水量(B)	千 $m^3$	107,353	107,478	104,390	103,857	101,371	0.1	△ 2.9	△ 0.5	△ 2.4
1人1日平均給水量	$\frac{L}{人}$	368	370	360	359	352	0.5	△ 2.7	△ 0.3	△ 1.9
有収率(B)／(A)	%	90.0	90.1	89.0	90.2	90.5				



経営状況(上水道事業)

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
経常収益(A)	百万円	12,924	12,843	12,478	12,700	13,187	△ 0.6	△ 2.8	1.8	3.8
経常費用(B)	百万円	12,240	11,919	12,069	12,557	12,703	△ 2.6	1.3	4.0	1.2
経常収支比率(A/B)	%	105.6	107.8	103.4	101.1	103.8				
累積欠損金	百万円	128	64	80	0	0	△ 50.0	25.0	皆減	—
供給単価	円	114.1	114.9	114.1	114.9	121.3	0.7	△ 0.7	0.7	5.6
給水原価	円	125.5	123.4	126.4	131.6	135.0	△ 1.7	2.4	4.1	2.6
資本的収入	百万円	3,284	3,877	3,066	6,296	5,906	18.1	△ 20.9	105.3	△ 6.2
資本的支出	百万円	8,229	8,287	7,856	10,998	10,925	0.7	△ 5.2	40.0	△ 0.7

経営状況(簡易水道事業)

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
経常収益(A)	百万円	1,572	1,606	1,534	1,491	1,378	2.2	△ 4.5	△ 2.8	△ 7.6
経常費用(B)	百万円	1,318	1,244	1,229	1,218	1,078	△ 5.6	△ 1.2	△ 0.9	△ 11.5
収益的収支差引(A-B)	百万円	254	362	305	273	300	42.5	△ 15.7	△ 10.5	9.9
資本的収入(C)	百万円	3,645	2,209	2,159	2,220	2,221	△ 39.4	△ 2.3	2.8	0.0
資本的支出(D)	百万円	3,883	2,436	2,409	2,490	2,475	△ 37.3	△ 1.1	3.4	△ 0.6
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 237	△ 226	△ 250	△ 270	△ 254	4.6	△ 10.6	△ 8.0	5.9
実質収支	百万円	62	68	85	61	72	9.7	25.0	△ 28.2	18.0

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

(2) 工業用水道事業

工業用水道事業は3団体(あわら市、越前市、若狭町)が経営しており、給水先事業所数は16箇所(前年度17箇所)となっている。

年間総配水量は2,084千 $m^3$ (対前年度比321千 $m^3$ 、13.3%の減)、1日平均配水量は5,627 $m^3$ (前年度6,572 $m^3$ )となっている。

経常収益は7,476万円(対前年度比206万円、2.7%の減)、経常費用は6,970万円(同243万円、3.6%の増)となっており、差引5,061万円の黒字となっている。

経常収支比率は107.3%と前年度(114.2%)6.9ポイント減少している。

また、資本的収入は1億9,133万円、資本的支出は2億1,289万円となっている。

(3) ガス事業

ガス事業は1団体(福井市)が経営しており、平成20年度末現在の供給戸数は29,161戸(対前年度比436戸、1.5%の減)となっている。

ガスの供給量は、1,024,157千MJで前年度(1,046,060千MJ)に比べ21,903千MJ(2.1%)減少している。

経常収益は34億6,053万円(対前年度比9,800万円、2.9%の増)、経常費用は34億9,323万円(同1億4,538万円、4.0%の減)で、差引3,270万円の赤字となっている。

経常収支比率は99.1%と前年度(92.4%)を6.7ポイント上回っており、30億1,915万円の欠損金を生じている。

また、資本的収入2億2,029万円、資本的支出は11億660万円となって

いる。

#### 事業概要

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
年度末供給戸数	戸	37,242	36,683	36,088	29,597	29,161	△ 1.5	△ 1.6	△ 18.0	△ 1.5
ガス生産量(A)	千MJ	772,459	785,356	875,374	1,065,998	1,038,341	1.7	11.5	21.8	△ 2.6
ガス供給量(B)	千MJ	771,344	771,837	872,346	1,046,060	1,024,157	0.1	13.0	19.9	△ 2.1
有収率(B)／(A)	%	99.9	98.3	99.7	98.1	98.6				

#### 経営状況

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
経常収益(A)	百万円	3,313	3,442	3,341	3,363	3,461	3.9	△ 2.9	0.7	2.9
経常費用(B)	百万円	4,017	4,045	3,843	3,639	3,493	0.7	△ 5.0	△ 5.3	△ 4.0
経常収支比率(A／B)	%	82.5	85.1	86.9	92.4	99.1				
累積欠損金	百万円	2,465	3,069	3,604	2,986	3,019	24.5	17.4	△ 17.1	1.1
資本的収入	百万円	331	326	1,061	427	220	△ 1.5	225.5	△ 59.8	△ 48.5
資本的支出	百万円	1,140	1,145	1,141	1,043	1,107	0.4	△ 0.3	△ 8.6	6.1

#### (4) 病院事業

病院事業は6団体（敦賀市：市立敦賀病院、坂井市：市立三国病院、越前町：国民健康保険織田病院、若狭町：国民健康保険上中病院、公立小浜病院組合：公立小浜病院・レイクヒルズ美方病院、公立丹南病院組合：公立丹南病院）が経営しており、病床数は1,365床を有している。

平成20年度の利用患者数は年延入院患者数で363,869人（対前年度比5,020人、1.4%の増）、年延外来患者数で734,696人（対前年度比19,533人、2.6%の減）となっている。

経常収益は211億5,773万円（対前年度比9億1,096万円、4.5%の増）、経常費用は226億4,315万円（同11億5,943万円、5.4%の増）で、差引14億8,541万円の赤字となっている。経常収支比率は、93.4%で前年度（94.2%）を0.8ポイント下回っている。

資本的収支についてみると、資本的収入は9億8,735万円、そのうち11.1%にあたる1億1,000万円が企業債であり、資本的支出は15億1,721万円となっている。

#### 事業概要

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
病床数	床	1,308	1,300	1,325	1,365	1,365	△ 0.6	1.9	3.0	0.0
年延入院患者数(A)	千人	384	373	357	359	364	△ 2.9	△ 4.3	0.6	1.4
年延外来患者数(B)	千人	812	787	764	754	735	△ 3.1	△ 2.9	△ 1.3	△ 2.5
年延患者数(A+B)	千人	1,196	1,160	1,122	1,113	1,099	△ 3.0	△ 3.3	△ 0.8	△ 1.3
1日平均入院患者数(C)	人	1,052	1,020	977	980	994	△ 3.0	△ 4.2	0.3	1.4
1日平均外来患者数(D)	人	3,095	2,983	2,899	2,857	2,797	△ 3.6	△ 2.8	△ 1.4	△ 2.1
1日平均患者数(C+D)	人	4,147	4,003	3,876	3,837	3,791	△ 3.5	△ 3.2	△ 1.0	△ 1.2
病床利用率	%	80.4	78.7	73.9	71.8	73.0				

経営状況

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
経常収益(A)	百万円	20,906	21,263	19,751	20,247	21,158	1.7	△ 7.1	2.5	4.5
経常費用(B)	百万円	21,565	21,701	21,156	21,484	22,643	0.6	△ 2.5	1.6	5.4
経常収支比率(A/B)	%	96.9	98.0	93.4	94.2	93.4				
累積欠損金	百万円	1,325	1,613	3,103	4,592	6,087	21.7	92.4	48.0	32.6
資本的収入	百万円	7,392	5,915	5,419	5,617	987	△ 20.0	△ 8.4	3.7	△ 82.4
資本的支出	百万円	8,959	7,085	6,160	6,180	1,517	△ 20.9	△ 13.1	0.3	△ 75.5

(5) 下水道事業

下水道事業の数は55事業（法適用6事業、法非適用49事業）であり、前年度からの増減はない。

内訳を事業別にみると、公共下水道事業が14事業（うち法適用4事業）、特定環境保全公共下水道事業が8事業（うち法適用1事業）、農業集落排水事業が17事業（うち法適用1事業）、漁業集落排水事業が7事業、林業集落排水事業が2事業、小規模集合排水処理事業が3事業、特定地域生活排水処理事業が2事業および個別排水処理施設整備事業が2事業となっている。

処理区域内人口は662,859人（前年度649,292人）であり、普及率（処理区域内人口／行政区域内人口）は80.4%（同78.4%）となっている。また、年間総処理水量は、118,386千m<sup>3</sup>（同119,102千m<sup>3</sup>）である。

法適用企業の経営状況をみると、経常収益は112億6,415万円（対前年度比4億5,084万円、3.8%の減）、経常費用は110億1,700万円（同5億1,465万円、4.5%の減）であり、差引2億4,715万円の黒字となっている。

資本的収支では、資本的収入は167億3,809万円であり、資本的支出は208億8,707万円となっている。

法非適用企業をみると、収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は1億9,832万円（同494万円、2.6%の増）の黒字となっている。

このように下水道事業全体の収支は黒字となっているが、これは一般会計等から多額の繰入が行われていることによる。下水道事業に対する一般会計からの繰入金（法適用企業、法非適用企業の合計）は、総収益（216億8,926万円）のうち48.6%にあたる105億4,250万円、資本的収入（404億1,043万円）のうち13.9%にあたる55億9,838万円、合計で161億4,088万円（対前年度比8億0,813万円、4.8%の減）にのぼっている。

この一般会計からの負担は各団体の財政を圧迫してきており、計画的な事業遂行、使用料の適正化、水洗化率の向上など経営の改善を図っていく必要がある。下水道事業は他の事業に比べ資本整備が長期間にわたり、その間の建設投資も莫大であることから、事業実施団体の発行する起債も多額のものとなっている。平成20年度末での企業債残高（法適用企業、法非適用企業の合計）は全体で2,886億0,717万円（対前年度11億3,321万円、0.4%の減）となっている。

## 事業概要

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
処理区域内人口	人	600,821	619,347	634,733	649,292	662,859	3.1	2.5	2.3	2.1
処理区域内面積	㎡	17,864	18,818	19,354	19,942	20,650	5.3	2.8	3.0	3.6
年間総有処理量	千㎡	118,779	122,180	115,354	119,102	118,386	2.9	△ 5.6	3.2	△ 0.6
年間総有収水量	千㎡	76,557	78,865	78,158	80,064	80,239	3.0	△ 0.9	2.4	0.2

## 経営状況(法適用企業)

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
経常収益(A)	百万円	8,857	9,993	10,815	11,715	11,264	12.8	8.2	8.3	△ 3.8
経常費用(B)	百万円	8,832	9,837	10,714	11,532	11,017	11.4	8.9	7.6	△ 4.5
経常収支比率(A/B)	%	100.3	101.6	100.9	101.2	102.2				
資本費単価	円	115.2	115.2	163.7	162.9	154.3	0.0	42.1	△ 0.5	△ 5.3
使用料単価	円	133.2	132.6	164.9	143.2	130.0	△ 0.5	24.4	△ 13.2	△ 9.2
処理原価	円	233.9	236.0	267.7	266.7	246.7	0.9	13.4	△ 0.4	△ 7.5
資本的収入	百万円	9,498	11,563	11,903	18,912	16,738	21.7	2.9	58.9	△ 11.5
資本的支出	百万円	12,686	14,323	14,790	22,699	20,887	12.9	3.3	53.5	△ 8.0

## 経営状況(法非適用企業)

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
総収益(A)	百万円	12,674	10,702	10,752	10,531	10,425	△ 15.6	0.5	△ 2.1	△ 1.0
総費用(B)	百万円	11,752	10,014	9,684	9,012	8,503	△ 14.8	△ 3.3	△ 6.9	△ 5.6
収益的収支差引(A-B)	百万円	922	688	1,067	1,518	1,922	△ 25.4	55.1	42.3	26.6
資本的収入(C)	百万円	27,066	22,760	23,867	25,706	23,672	△ 15.9	4.9	7.7	△ 7.9
資本的支出(D)	百万円	28,033	23,645	24,876	27,380	25,854	△ 15.7	5.2	10.1	△ 5.6
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 966	△ 885	△ 1,009	△ 1,674	△ 2,182	8.4	△ 14.0	△ 65.9	△ 30.3
実質収支	百万円	296	197	449	193	198	21.0	127.9	127.5	2.6

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

### (6) 港湾整備事業

敦賀市のみが実施している。収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は1,995万円(対前年度比8万円、0.4%の減)の黒字となっている。

### (7) 市場事業

福井市のみが実施している(昨年度2団体)。収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は31万円(対前年度比41万円、56.9%の減)の黒字となっている。

### (8) 観光施設事業

観光施設は、休養宿泊施設を3団体(小浜市、越前町、高浜町)、その他観光施設(市民温泉施設)を1団体(敦賀市)が実施している。

平成20年度の年間延宿泊者数は22,979人で前年度(25,529人)に比べ2,550人(10.0%)減少している。

法適用企業における経常収益は2億9,451万円(対前年度比3,025万円、9.3%の減)、経常費用は3億1,412万円(同2,983万円、8.7%の

減)で、差引1,961万円の赤字であり、経常収支比率は93.8%で前年度(94.4%)を0.6ポイント減少している。

また、3事業において1億1,286万円の累積欠損金を生じている。

法非適用企業における収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は0円(対前年度比1,225万円、皆減)となっている。

#### 事業概要

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
年延宿泊者数(A)	人	46,693	38,251	34,573	25,529	22,979	△ 18.1	△ 9.6	△ 26.2	△ 10.0
年延休憩利用者数(B)	人	13,848	12,688	14,271	13,989	14,146	△ 8.4	12.5	△ 2.0	1.1
年延利用者数(A+B)	人	60,541	50,939	48,844	39,518	37,125	△ 15.9	△ 4.1	△ 19.1	△ 6.1
1日平均宿泊者数(C)	人	128	105	95	70	63	△ 18.0	△ 9.5	△ 26.4	△ 9.9
1日平均休憩利用者数(D)	人	38	35	39	39	39	△ 7.9	11.4	0.0	0.0
1日平均利用者数(C+D)	人	166	140	134	109	102	△ 15.7	△ 4.3	△ 18.7	△ 6.4
年間輸送人員(スキーリフト)	千人	631	0	0	0	0	皆減	—	—	—
年間延利用者数(その他観光施設)	人	218,869	237,937	241,672	240,483	221,792	8.7	1.6	△ 0.5	△ 7.8

#### 経営状況(法適用企業)

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
経常収益(A)	百万円	369	334	367	325	295	△ 9.5	9.9	△ 11.4	△ 9.2
経常費用(B)	百万円	367	360	367	344	314	△ 1.9	1.9	△ 6.3	△ 8.7
経常収支比率(A/B)	%	100.6	92.8	99.9	94.4	93.8				
累積欠損金	百万円	49	41	74	93	113	△ 16.3	80.5	25.7	21.5
資本的収入	百万円	0	1	0	0	0	皆増	皆減	—	—
資本的支出	百万円	18	15	16	13	14	△ 16.7	6.7	△ 18.8	7.7

#### 経営状況(法非適用企業)

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
総収益(A)	百万円	693	408	319	262	277	△ 41.1	△ 21.8	△ 17.9	5.7
総費用(B)	百万円	676	403	300	278	289	△ 40.4	△ 25.6	△ 7.3	4.0
収益的収支差引(A-B)	百万円	17	6	18	△ 16	△ 12	△ 64.7	200.0	△ 188.9	△ 25.0
資本的収入(C)	百万円	55	42	0	24	0	△ 23.6	皆減	皆増	皆減
資本的支出(D)	百万円	71	42	0	24	0	△ 40.8	皆減	皆増	皆減
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 15	0	0	0	0	皆増	—	—	—
実質収支	百万円	4	10	28	12	0	150.0	180.0	△ 57.1	皆減

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

#### (9) 宅地造成事業

宅地造成事業は7団体(昨年度6団体)が実施しており、全体でみた実質収支は1億5,614万円の赤字(対前年度比3億3,670万円、186.5%の減)となっている。

経営状況

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
総収益(A)	百万円	1,087	2,076	1,471	2,012	2,108	91.0	△ 29.1	36.8	4.8
総費用(B)	百万円	180	185	189	458	479	2.8	2.2	142.3	4.6
収益的収支差引(A-B)	百万円	907	1,891	1,282	1,553	1,629	108.5	△ 32.2	21.1	4.9
資本的収入(C)	百万円	1,972	943	1,530	1,374	1,914	△ 52.2	62.2	△ 10.2	39.3
資本的支出(D)	百万円	2,652	2,956	2,781	2,914	3,790	11.5	△ 5.9	4.8	30.1
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 680	△ 2,014	△ 12,525	△ 1,540	△ 1,876	△ 196.2	△ 521.9	87.7	△ 21.8
実質収支	百万円	190	207	47	181	△ 156	8.9	△ 77.3	285.1	△ 186.2

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

(10) 駐車場整備事業

駐車場整備事業は福井市、小浜市、鯖江市および越前市の4団体が実施しており、収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は4,531万円（対前年度比966万円、27.1%の増）の黒字となっている。

経営状況

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
総収益(A)	百万円	782	765	570	555	562	△ 2.2	△ 25.5	△ 2.6	1.3
総費用(B)	百万円	456	435	226	198	208	△ 4.6	△ 48.0	△ 12.4	5.1
収益的収支差引(A-B)	百万円	325	330	344	357	354	1.5	4.2	3.8	△ 0.8
資本的収入(C)	百万円	0	0	0	0	67	—	—	—	皆増
資本的支出(D)	百万円	316	326	337	344	402	3.2	3.4	2.1	16.9
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 316	△ 326	△ 337	△ 344	△ 335	△ 3.2	△ 3.4	△ 2.1	2.6
実質収支	百万円	14	18	25	36	45	28.6	38.9	44.0	25.0

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

(11) 介護サービス事業

介護サービス事業は、平成12年4月の介護保険法施行に伴って実施されている事業であり、4団体（昨年度3団体）が実施している。収益的収支と資本的収支を通じた実質収支は、6,732万円（対前年度比361万円、5.7%の増）の黒字となっている。

経営状況

区 分	単位	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	16-17増減	17-18増減	18-19増減	19-20増減
総収益(A)	百万円	864	837	712	611	710	△ 3.1	△ 14.9	△ 14.2	16.2
総費用(B)	百万円	746	761	673	531	635	2.0	△ 11.6	△ 21.1	19.6
収益的収支差引(A-B)	百万円	118	77	39	80	75	△ 34.7	△ 49.4	105.1	△ 6.3
資本的収入(C)	百万円	25	48	24	707	18	92.0	△ 50.0	2,845.8	△ 97.5
資本的支出(D)	百万円	64	52	44	716	33	△ 18.8	△ 15.4	1,527.3	△ 95.4
資本的収支差引(C-D)	百万円	△ 38	△ 4	△ 19	△ 9	△ 15	89.5	△ 375.0	52.6	△ 66.7
実質収支	百万円	90	111	48	64	67	23.3	△ 56.8	33.3	4.7

※実質収支は、収益的収支差引と資本的収支差引に前年度からの繰越金等を加えたもの

(12) その他事業

その他事業としては、こしの国広域事務組合がケーブルテレビ事業を実施してい

る。

平成16年度から事業を開始しており、経常収益は2億185万円（対前年度比490万円、2.5%の増）、経常費用は2億378万円（対前年度比3,277万円、19.2%の増）で、差引193万円の赤字であり、経常収支比率は99.1%で前年度（115.2%）を16.1ポイント下回っている。

資本的収支は、資本的収入0円、資本的支出6,513万円となっている。

#### 経営状況

区 分	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	17-18増減	18-19増減	19-20増減
経常収益(A)	百万円	14	64	197	202	357.1	207.8	2.5
経常費用(B)	百万円	14	63	171	204	350.0	171.4	19.3
経常収支比率(A/B)	%	100.1	101.0	115.2	99.1			
累積欠損金	百万円	0	0	0	△2	—	—	皆減
資本的収入	百万円	567	779	216	0	37.4	△72.3	皆減
資本的支出	百万円	587	783	238	65	33.4	△69.6	△72.7